

平成17年度の効果額は1億3,929万2千円

行財政改革の2年目となる平成17年度は、歳入では、水道料金および職員住宅料金の改定を行いました。

歳出では、退職職員の不補充や管理職手当および各種委員会委員の定員の見直しによる人件費の削減をはじめ、イベント事業の見直しや事務的経費、維持補修費などの削減を行い、平成17年度の効果額は、1億3,929万2千円を見込んでいます。よって、平成16年度から2年間の行財政改革の効果額の合計は、3億6,033万5千円となっております。

厳しい財政状況の下、これからのまちづくりのために町民の皆さんのご理解とご協力をお願いします。

問い合わせ先

行政調整室(行政調整係)

☎ 52 2101

これからのまちづくりのために 歳入歳出の見直し

行財政改革を断行

国の構造改革により、地方交付税や補助金などの削減が行われ、自主財源の乏しい市町村の財政は大変厳しい状況に置かれています。
南富良野町では、平成16年度から18年度を『行財政改革』の重点期間と定めて歳入歳出全般の見直しを進めています。今月号では平成17年度の内容についてお知らせします。

区分	平成16年度 効果額	平成17年度	
		効果額	主な内容
歳入	1 施設使用料などの見直し	1,269万2千円	1,384万8千円
	公共施設使用料など	1,269万2千円	
	水道料金		1,276万0千円 ■ 使用料の見直し
	公宅料金		108万8千円 ■ 職員住宅料、教員住宅料の見直し
歳出	2 人件費の見直し	1億2,013万5千円	4,565万1千円
	職員	1億 88万8千円	4,374万1千円
	特別職および議会議員など	1,512万1千円	
	各種委員	412万6千円	191万0千円 ■ 農業委員会委員などの定員見直し
	3 事務事業の見直し	8,821万6千円	7,979万3千円
	報償費、補助金	1,674万7千円	2,870万7千円
	委託料、使用料	3,222万3千円	3,137万3千円
	旅費	1,481万7千円	75万8千円
	維持補修費		1,378万6千円
	その他	2,442万9千円	516万9千円
合計	2億2,104万3千円	1億3,929万2千円	2年間の合計 3億6,033万5千円